

5 調査広聴

(1) 市民意識調査（郵送法）

市民意識調査は、経年的に市政全般にわたる市民の満足度や要望を把握し、その調査結果を今後の施策や事業の推進に反映することを目的として、平成 19 年度から実施しています。

調査は、市内在住者のほか、市内の事業所に協力をいただき、市外から市内へ通勤する市内在勤者についても対象として行っています。

① 在住者意識調査

- ・調査地域：さいたま市全域
- ・調査対象：さいたま市在住の満 18 歳以上の男女
- ・調査対象数：5,000 人
- ・抽出法：住民基本台帳に基づく層化多段無作為抽出
- ・調査方法：郵送配布・郵送又はWEB回収法
- ・調査項目：地域での生活、さいたま市のイメージ、市政との関わり、市政への満足度・重視度、防犯対策、SDGs、今の地域を選んだ理由

② 在勤者意識調査

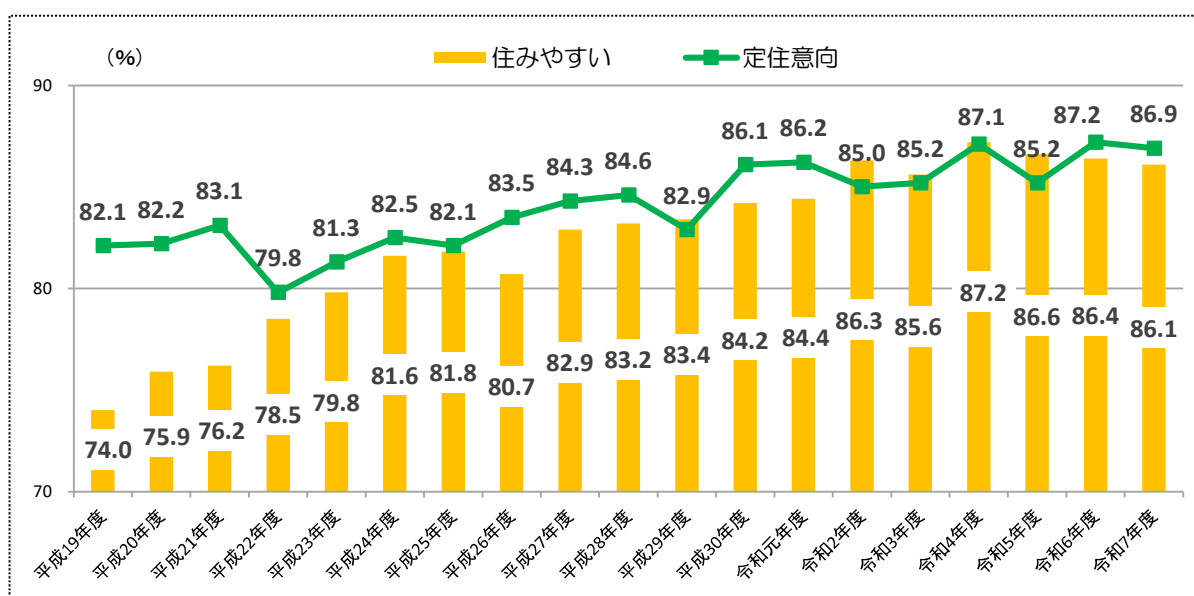
- ・調査地域：さいたま市全域の事業所
- ・調査対象：さいたま市外からさいたま市内の事業所に通勤する満 18 歳以上の男女
- ・調査対象数：2,000 人
- ・抽出法：市内の事業所を無作為に抽出し、事業所を通じて個人への調査を依頼
- ・調査方法：郵送配布・郵送又はWEB回収法
- ・調査項目：さいたま市のイメージ、市内での活動

③ 年度別実績

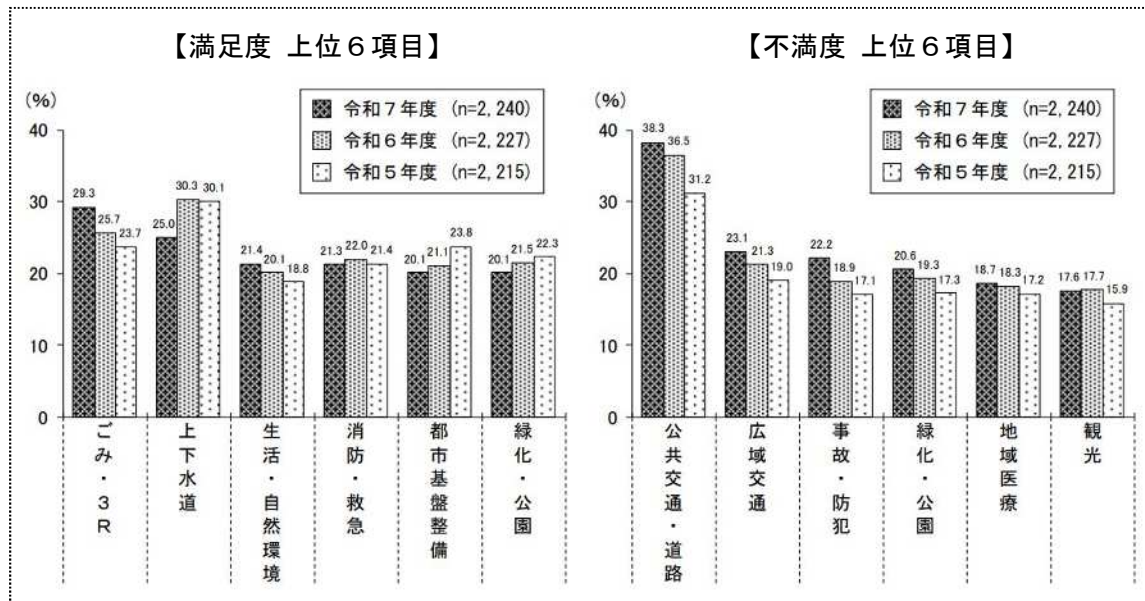
調査種類	対象者数	年度	回答者数	回答率
在住者調査	5,000 人	令和 3 年度	2,642 人	52.8 %
		令和 4 年度	2,513 人	50.3 %
		令和 5 年度	2,215 人	44.3 %
		令和 6 年度	2,227 人	44.5 %
		令和 7 年度	2,240 人	44.8 %
在勤者調査	2,000 人	令和 3 年度	598 人	29.9 %
		令和 4 年度	730 人	36.5 %
		令和 5 年度	550 人	27.5 %
		令和 6 年度	710 人	35.5 %
		令和 7 年度	629 人	31.5 %

④ 主な結果

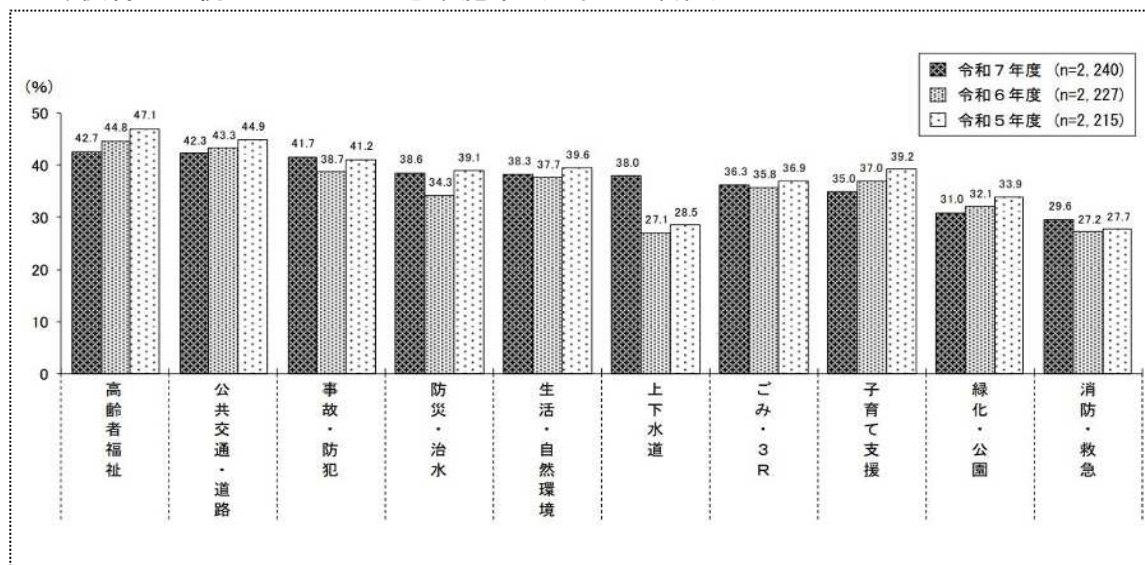
「住みやすさ」と「定住意向」の推移



施策への満足度・不満度（上位6項目）



今後特に重視してほしいと思う施策（上位10項目）



在住者意識調査自由意見

在住者意識調査の回答者に、本市に対する意見や要望を自由記述形式で聞いたところ、692 人から 1,253 件の意見等が寄せられました。

大項目	中項目	件数
1 コミュニティ・ 人権・多文化共生 (80 件)	(1) 地域活動	7
	(2) 人権尊重	1
	(3) 多文化共生等	72
	(4) その他	0
2 環境 (79 件)	(1) 地球温暖化対策	4
	(2) ごみ処理	22
	(3) 生活環境・自然環境	42
	(4) その他	11
3 健康・スポーツ (29 件)	(1) 健康づくり	0
	(2) スポーツ	29
	(3) その他	0
4 教育 (70 件)	(1) 学校教育	58
	(2) 生涯学習	12
	(3) その他	0
5 生活安全 (117 件)	(1) 事故・防犯	111
	(2) 消費者	2
	(3) 生活衛生・食品	0
	(4) その他	4
6 福祉・医療 (95 件)	(1) 高齢者福祉	17
	(2) 障害者福祉	6
	(3) 地域医療	38
	(4) その他	34
7 子ども・子育て (103 件)	(1) 子育て支援	97
	(2) 青少年	3
	(3) その他	3
8 文化 (8 件)	(1) 文化芸術・歴史	8
	(2) その他	0
9 都市インフラ (318 件)	(1) 都市基盤・広域交通網	70
	(2) 都市景観	64
	(3) 公共交通・道路	153
	(4) 上下水道	15
	(5) その他	16

大項目	中項目	件数
10 防災・消防 (12 件)	(1) 防災・治水	10
	(2) 消防・救急	1
	(3) その他	1
11 経済・産業 (50 件)	(1) 産業	39
	(2) 観光	8
	(3) 農業	2
	(4) その他	1
12 質の高い都市経営 (171 件)	(1) 広報・広聴機能	27
	(2) I C T	21
	(3) シティセールス	6
	(4) 健全財政	60
	(5) その他	57
13 その他・総合 (121 件)	(1) 総合（政策・職員・組織など）	87
	(2) 市民意識調査	14
	(3) その他	20
合 計		1, 253

在勤者意識調査自由意見

在勤者意識調査の回答者に、本市に対する意見や要望を自由記述形式で聞いたところ、105 人から 152 件の意見等が寄せられました。

大項目	中項目	件数
1 コミュニティ・ 人権・多文化共生 (8 件)	(1) 地域活動	1
	(2) 人権尊重	0
	(3) 多文化共生等	7
	(4) その他	0
2 環境 (8 件)	(1) 地球温暖化対策	0
	(2) ごみ処理	3
	(3) 生活環境・自然環境	5
	(4) その他	0
3 健康・スポーツ (6 件)	(1) 健康づくり	1
	(2) スポーツ	5
	(3) その他	0
4 教育 (1 件)	(1) 学校教育	1
	(2) 生涯学習	0
	(3) その他	0

大項目	中項目	件数
5 生活安全 (14 件)	(1) 事故・防犯	14
	(2) 消費者	0
	(3) 生活衛生・食品	0
	(4) その他	0
6 福祉・医療 (4 件)	(1) 高齢者福祉	1
	(2) 障害者福祉	0
	(3) 地域医療	3
	(4) その他	0
7 子ども・子育て (2 件)	(1) 子育て支援	2
	(2) 青少年	0
	(3) その他	0
8 文化 (1 件)	(1) 文化芸術・歴史	1
	(2) その他	0
9 都市インフラ (54 件)	(1) 都市基盤・広域交通網	23
	(2) 都市景観	5
	(3) 公共交通・道路	23
	(4) 上下水道	2
	(5) その他	1
10 防災・消防 (1 件)	(1) 防災・治水	1
	(2) 消防・救急	0
	(3) その他	0
11 経済・産業 (10 件)	(1) 産業	4
	(2) 観光	4
	(3) 農業	1
	(4) その他	1
12 質の高い都市経営 (29 件)	(1) 広報・広聴機能	1
	(2) I C T	0
	(3) シティセールス	4
	(4) 健全財政	4
	(5) その他	20
13 その他・総合 (14 件)	(1) 総合（政策・職員・組織など）	2
	(2) 市民意識調査	5
	(3) その他	7
合 計		152

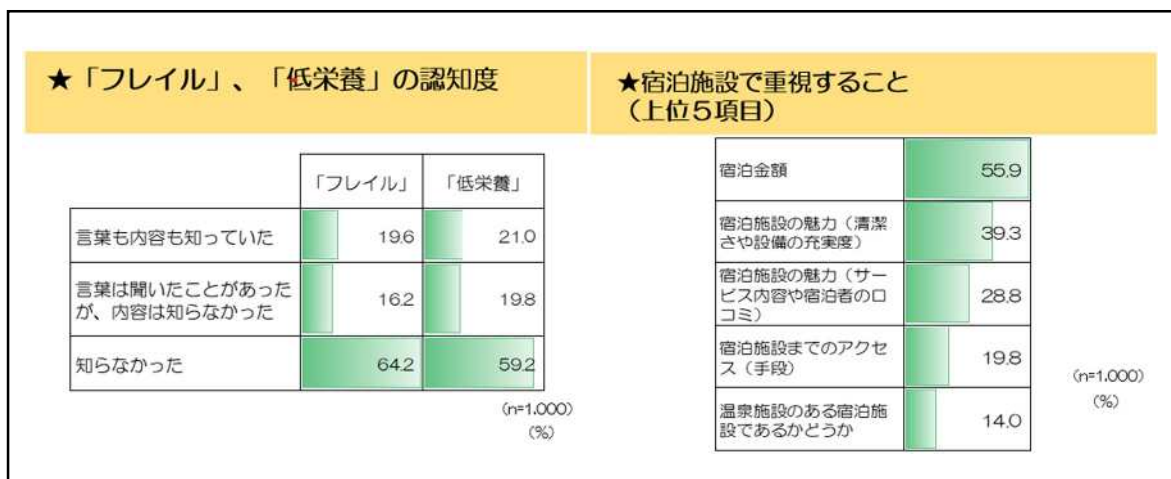
(2) インターネット市民意識調査

インターネット市民意識調査は、郵送による市民意識調査と同様に、市民の満足度や要望を把握し、今後の施策や事業の推進に反映することを目的としており、庁内の調査希望に応じて、タイムリーな事柄についての調査を平成 23 年度から実施しています。

- ・ 調査対象：さいたま市在住の満 18 歳以上 69 歳以下の男女の計 1,000 人（委託業者に登録しているモニター）
内訳として、18～29 歳・30～39 歳・40～49 歳・50～59 歳・60～69 歳の男女各 100 人
- ・ 実施時期：令和 7 年度は、7 月、8 月、11 月、2 月で計 4 回実施

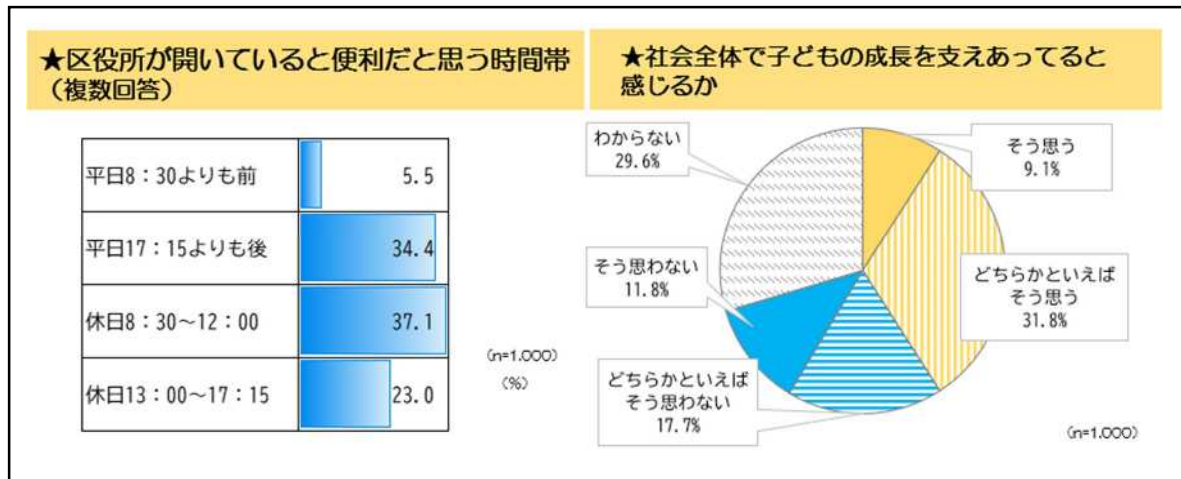
7 月調査	計 20 問
さいたまスイーツ（商業振興課）、低栄養の予防（いきいき長寿推進課）、さいたま市市民保養施設（市民生活安全課）、さいたま市の地球温暖化対策（ゼロカーボン推進戦略課）、犯罪被害者支援（市民生活安全課）、自殺予防事業（危機管理課）	
実施	7 / 4 ～ 7 / 23
結果	8 月 29 日 インターネット上で公表

調査結果（抜粋）



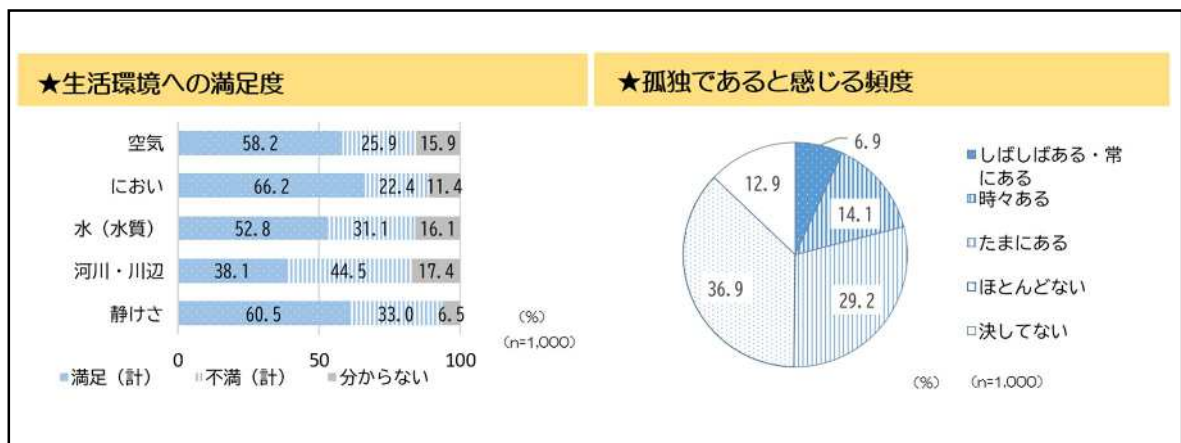
8月調査	計 20 問
SNS（広報課）、市議会の広報（秘書総務課）、区役所における窓口サービス（区政推進部）、さいたまキッズな City 大会宣言（子ども・青少年政策課）、家庭での災害時の備え（防災課）	
実施	8 / 1 ~ 8 / 15
結果	9 月 30 日 インターネット上で公表

調査結果(抜粋)



11月調査	計 20 問
さいたま市の生活環境への満足度（環境総務課）、人とのつながり（地域福祉推進室）、がん検診（健康支援課）、保健所における性感染症検査事業（感染症対策課）、プレコンセプションケア（母子保健課）、成年後見制度（高齢福祉課）、民生委員・児童委員（福祉総務課）	
実施	10 / 31 ~ 11 / 17
結果	12 月 26 日 インターネット上で公表

調査結果(抜粋)



2月調査	計 20 問
市報さいたま（広報課）、さいたま市のテレビ広報番組（広報課）、有機農産物（農業政策課）、食品ロス削減（資源循環政策課）、さいたま国際芸術祭（文化政策室）、市民活動への参加状況（市民協働推進課）、平和に対する考え（総務課）	
実施	1 / 30 ~ 2 / 16
結果	3 月 31 日 インターネット上で公表

調査結果(抜粋)

★知っていた食品ロスの取組 (複数回答)		★記憶に残る広告(上位5位) (3つまで回答)	
Saitama Sunday Soup(日曜日は食べつ くスープ!)	6.9	テレビ	42.9
チームEat All	4.4	インターネット(Yahoo!や Bingなど)	42.6
フードドライブ	17.8	YouTube	29.6
その他	0.1	SNS	28.1
どれも知らなかった	77.9	覚えていない	15.0
(%) (n=1,000)		(%) (n=1,000)	

(3) デジタル意見ひろば（市民参加型意見共有デジタルプラットフォーム）

市が設定したテーマについて、市民が時間や場所の制約を受けずに、スキマ時間に気軽に意見やアイデアを投稿し、市民と市が意見を共有できるウェブ上のツールで、投稿された意見は、施策に反映・活用していくものです。

令和7年度から実施しており、初年度となる令和7年度においては、以下のテーマについて意見募集を実施しました。

・令和7年度デジタル意見ひろば実施状況

No.	テーマ	意見募集期間	担当課	総コメント数 (件)	総いいね数 (件)
1	さいたま市役所本庁舎が移転した後、どんな場所になったらいいですか	令和7年8月28日から10月5日まで	都市経営戦略部	837	1,859
2	避難所をみんなで協力して運営するのに必要なことは？	令和7年11月20日から12月25日まで	防災課	174	63
合計				1,011	1,922

・主なコメント内容

No.	テーマ	主なコメント
1	さいたま市役所本庁舎が移転した後、どんな場所になったらいいですか	・浦和駅からも比較的近い場所に新たなスタジアムを建設し、来場者の利便性向上及び、浦和市街地の経済効果にもつなげてはどうか。 ・スタートアップ企業が入り、研究機関の入る場所。 ・商業施設と、子育て家族が立ち寄りやすい広場や図書館のような子育て世代が有難い機能を併設した場所。 ・子どもが楽しめて、大人も過ごしやすい公園・広場。 ・さまざまなスポーツの国際大会にも対応できる大型屋内スポーツ施設。 ・一つの目的に絞るのではなく、多様な用途を持った施設。 ・大型の医療センター

No.	テーマ	主なコメント
2	避難所をみんなで協力して運営するのに必要なことは？	【避難所運営】よりよくするために必要な工夫 ・協力してくれる有資格者やスキル保持者の名簿作成をルール化してはどうか。 【備蓄】自宅で準備した方がいいもの ・基本は自助であることをもっと訴え、個人の備えを充実させるべき。 【備蓄】地域で準備した方がいいもの ・災害用の洋式トイレ 【備蓄】市の倉庫等にあった方がいいもの ・暑さ寒さをしのげ、プライバシーが多少なり守られる設備。具体的には、毛布、扇風機、段ボール、ベッドなど。